

吹田市条例第 29 号第 12 条による遺伝子組換え実験に関する情報発信

(調査対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日)

●組換えDNA実験安全委員会（以下、安全委員会）開催日と主な内容

開催日	出席者数	主な議題
6/8	5 名	・ 遺伝子組換え実験実績報告および実験計画の審議及び承認

●区分ごとの実験テーマ件数

実験区分	実験テーマ数
P 1 レベル	3 件
P 2 レベル	0 件
P 3 レベル	実施無し
特飼・特網	(社内規則上実施不可)

●拡散防止措置

・実験室排気系統からの組換え微生物漏洩防止

封じ込めが必要な組換え微生物は、安全キャビネット内で取り扱いを行い、作業環境での暴露を防止している。さらに、作業環境から施設外への漏出防止のため、室内排気系統にはHEPAフィルターを設置している。

安全キャビネット及びHEPA フィルターについては定期点検を実施している。

・廃棄物・廃液の処理状況

実験廃棄物は高圧滅菌処理を実施し滅菌後、実験廃液は水酸化ナトリウムで強アルカリ性として滅菌後、それぞれ産業廃棄物として適切に処理を行っている。

実験排水処理薬剤と使用量

水酸化ナトリウム水溶液	5 k g / 年
-------------	-----------

廃棄物の高圧滅菌処理実施状況

平均	5 回/週	実施
----	-------	----

●教育訓練実施状況

実施日	参加人数	主な内容
6/15	14 名	バイオセーフティー、病原微生物の教育
12/25	19 名	カルタヘナ法に関する教育

●その他

設備の故障及び修繕	無し
実験従事者の健康診断	半年毎に実施
遺伝子組換え生物の漏えい等の事故の発生	無し

以上